

提出第2号

株式会社くみはま県の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、株式会社くみはま県の経営状況を説明する書類を別紙のとおり提出する。

令和7年9月4日提出

京丹後市長 中山 泰

令和6年度
事業報告書

株式会社 くみはま縣

令和6年度事業報告

総括的概要

株式会社くみはま県の令和6年度（第26期）収支状況は、売上金額は前年度比の100.21%にあたる153,211,848円（前年度は152,889,414円）と、前年度に比べ微増し、経常利益は前年度比の69.29%にあたる2,223,217円の黒字計上（前年度は3,208,298円）となりました。

レストラン部門につきましては、アフターコロナの中、営業日数を通常に戻したことにより来客数が増加し、前年度比の115.32%に当たる16,541人（前年度は14,344人）となりました。それに伴い、販売費及び一般管理費が前年度比の101.06%にあたる28,353,818円（前年度は28,056,525円）となりました。

販売費及び一般管理費が増加した要因としては、最低賃金の引上げ、水道光熱費等が上昇していることが要因となっています。

施設利用者数につきましては、令和6年度においては前年度比の102.15%に当たる142,491人（前年度は139,486人）と増加しています。

施設利用者数が増加した主な要因としては、周年的・定期的なイベント開催による地元や遠方の顧客の呼び込み、「道の駅」としての魅力発信をHPやInstagram、Facebookといったインターネットを中心としたPRを行い、交流販売拠点施設として、生産者・従業員・スタッフが一体となって、営業を展開してきたことによるものと思われます。

イベントとしましては、「くみはま SANKAIKAN 25周年祭」（10月）や「道の駅13周年スイカ祭」（6月）をはじめとした定期的なイベント開催のほか、「メロン祭り」（7月）、「秋の収穫祭」（9月）や各種フルーツ狩り体験などを実施しており、イベント開催による地元や遠方の顧客の呼び込みに繋がっています。

施設内において安心安全な地元農作物を直販する「菜〇野果市」については昨年度と変わらない利用者を維持しており、地域経済を大切にしながら地域振興を目指す弊社の活動は、観光客を始めとする交流人口の増加や地元産の農林水産物の販売促進につながっており、地域活性化の回復に向け着実に前進しているものと考えます。

くみはま SANKAIKAN

令和 6 年度 月別事業報告書

● 4 月

- ・4 月 22 日～ 久美浜産板ワカメ販売
- ・4 月 23 日～ 夏野菜苗の販売開始
- ・4 月 29・30 日 SANKAIKAN イベント「GW イベント第 1 弹」開始

● 5 月

- ・5 月 4・5 日 くみはま SANKAIKAN 「GW イベント第 2 弹」開催

● 6 月

- ・6 月 10 日～ 久美浜特産砂丘スイカ「砂丘のたまご」販売
- ・6 月 11 日～ ゆめろん Farm のメロン販売開始
- ・6 月 21 日～ Masanobu メロン販売開始
- ・6 月 22・23 日 SANKAIKAN イベント「道の駅 13 周年スイカ祭」開催
- ・6 月 26 日～ 久美浜産砂丘メロン販売開始
- ・6 月 30 日～ 桃販売開始

● 7 月

- ・7 月 1 日～ メロン狩り開始
- ・7 月 7 日 キス釣り大会出店
- ・7 月 20・21 日 くみはま SANKAIKAN イベント「メロン祭り」開催

● 8 月

- ・8月1日～ 浜詰さつまいも販売開始
- ・8月8日～ ぶどう販売開始
- ・8月11日～ 菜〇野果市盆花販売
- ・8月22日～ 梨販売開始
- ・8月25日 くみはま SANKAIKAN 特売日開催

● 9月

- ・9月1日 山開き…梨狩り開始
- ・9月4日～ 久美浜産新米販売開始
- ・9月28・29日 くみはま SANKAIKAN イベント「秋の収穫祭」開催

● 10月

- ・10月1日～ 久美浜産もち米販売開始
- ・10月24日～ 久美浜産砂丘甘藷販売開始
- ・10月26・27日 くみはま SANKAIKAN イベント「25周年祭」開催

● 11月

- ・11月6日～ かに解禁、かに販売開始
「かにすきセット」通信販売開始
- ・11月9日～ 久美浜産殻付き牡蠣の販売開始（朝市）
- ・11月23・24日 くみはま SANKAIKAN イベント「うまいもん市」開催

● 12月

- ・12月20日～ 正月用白餅予約販売

・12月21・22日 くみはま SANKAIKAN イベント「メリークリスマス」開催

● 1月

・1月15日～ 節分巻き寿司受付開始

・1月26日 くみはま SANKAIKAN 特売日開催

● 2月

・2月3日 節分巻き寿司販売

・2月21日～ 百合の球根の詰め放題開始

・2月23日 くみはま SANKAIKAN 特売日開催

● 3月

・3月20日～ 春の花の苗販売

決 算 報 告 書

第 26 期

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

株式会社 くみはま縣

京丹後市久美浜町浦明1709

貸 借 対 照 表

令和 7年 3月31日 現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 22,123,217】	【流 動 負 債】	【 3,711,586】
現 金	1,036,112	買 掛 金	1,956,271
普 通 預 金	19,137,897	未 払 法 人 税 等	360,200
売 掛 金	1,821,610	未 払 消 費 税 等	710,400
商 品 ・ 製 品	35,685	未 払 費 用	654,145
未 収 入 金	83,193	預 り 金	30,570
前 払 費 用	8,720		
【固 定 資 産】	【 918,359】	負 債 合 計	3,711,586
純 資 産 の 部			
【有 形 固 定 資 産】	【 771,159】	【株 主 資 本】	【 19,329,990】
建 物	1,853	【資 本 金】	【 20,000,000】
車両 運 搬 具	1	【利 益 剰 余 金】	【 △670,010】
工 具 器 具 備 品	509,904	(その他利益剰余金)	(△670,010)
一 括 償 却 資 産	259,401	繰 越 利 益 剰 余 金	△670,010
【無 形 固 定 資 産】	【 147,200】	純 資 産 合 計	19,329,990
電 話 加 入 権	147,200	負 債 ・ 純 資 産 合 計	23,041,576
資 産 合 計	23,041,576		

損 益 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
【純 売 上 高】	
売 上 高	154,057,619
売上値引・戻り高	845,771
	153,211,848
【売 上 原 価】	
期首商品棚卸高	33,438
仕 入 高	124,527,785
合 計	124,561,223
期末商品棚卸高	35,685
	124,525,538
売 上 総 利 益	28,686,310
【販売費及び一般管理費】	
営 業 利 益	28,353,818
	332,492
【営 業 外 収 益】	
受 取 利 息	10,016
雑 収 入	2,741,040
	2,751,056
経 常 利 益	3,083,548
税引前当期純利益	3,083,548
法人税、住民税及び事業税	860,331
当 期 純 利 益	2,223,217

販売費及び一般管理費

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
【人 件 費】	
給 料 手 当	5,800,000
賞 与 手 当	941,334
法 定 福 利 費	1,272,346
福 利 厚 生 費	227,079
	8,240,759
【経 費】	
広 告 宣 伝 費	3,881,016
荷 造 運 貨 手 数 料	1,091,031
交 際 費	1,855
通 信 費	443,356
水 道 光 熱 費	5,092,019
租 税 公 課	22,357
消 耗 品 費	971,076
賃 借 料	327,276
修 繕 費	629,977
保 険 料	125,150
支 払 手 数 料	3,295,270
諸 会 費	111,698
減 億 償 却 費	425,582
運 営 協 力 負 担 金	2,400,000
衛 生 費	736,377
他 営 業 費	14,343
雜 費	544,676
合 計	20,113,059
	28,353,818

株主資本等変動計算書

自 令和 6年 4月 1日
 至 令和 7年 3月31日 (単位: 円)
 株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	<u>20,000,000</u>
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	当期首残高	△2,893,227
	当期変動額	2,223,217
	当期末残高	<u>△670,010</u>
利益剰余金合計	当期首残高	△2,893,227
	当期変動額	2,223,217
	当期末残高	<u>△670,010</u>
株主資本合計	当期首残高	17,106,773
	当期変動額	2,223,217
	当期末残高	<u>19,329,990</u>
純資産合計	当期首残高	17,106,773
	当期変動額	2,223,217
	当期末残高	<u>19,329,990</u>

個 別 注 記 表

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

製品・・・売価還元法による原価法

商品・・・総平均法による原価法

原材料・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しています。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 14,095,628円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済普通株式） 200株

当期増加株式数（発行済普通株式） 0株

当期減少株式数（発行済普通株式） 0株

当期末株式数（発行済普通株式） 200株

摘要（発行済普通株式）

株式会社 くみはま縣

別紙の通り報告致します。

令和 7年 5月27日

株式会社 くみはま縣

代表取締役

増馬孝之

代表取締役

沖田真奈美

取締役

野村拓也

私監査役は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第26期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確である事を認めます。

令和 7年 5月27日

監査役

河田透



監査役

川戸潤子



令和7年度事業計画

令和7年度方針

昨今の経済状況は、米国の通商政策等により不透明感がみられます。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響などが、景気を下押しするリスクとなっています。一方で雇用・所得環境の改善や各種政策の効果、インバウンド需要の増加により、景気回復への期待がされています。

そのような状況において、私たちが先頭に立って地域経済活動を守り抜き、更には活性化させるという認識の下、くみはまSANKAIKAN（久美浜総合交流販売施設）の指定管理者として引き続き施設の適正かつ積極的な運営管理を行い、地域特産物の生産・販売を通じた地域の農林水産業の発展に貢献し、市内外の消費者から信頼・期待される施設作りに努めていくことが重要であると考えます。

令和7年度においては、昨年度に引き続き、スタンプラリーなどの「道の駅」登録施設であるメリットを最大限活かす取り組みや「京丹後フルーツトレイン」を継続的に行うとともに、地域内外からの新たな集客による相乗効果をつかむため魅力ある情報発信を進めていきます。

さらに、ふるさと納税の取り組みや、「くみはま SANKAIKAN オープン26周年祭」、「道の駅14周年祭」等のイベント開催、「久美浜まるかじりまつり」への出店など、PR・交流活動にも、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

販売面では、インターネットを活用したPRやオリジナル商品の開発、ECサイトでの販売力強化が昨年に引き続き重要であり、年間を通じた農産物の安定した品ぞろえをはじめ、これまでからの継続的課題の改善と発展に努め、安定経営を目指し取り組みを進めたいと考えます。

また、集客の中心的な柱と考えている「菜〇野果市」の運営については、これまで以上に菜〇野果俱楽部との緊密な連携を継続して、農産物・加工品販売の端境期を無くすとともに、年間を通して魅力的な売り場づくりを目指します。

具体的な事業計画

収支計画については、今後の業績により赤字を回避することが実現可能であるとの前向きな考えに立って計画を作成しています。また、事業実施にあたっては常に支出経費の抑制に努めるなど、収支改善を検討・実行していくこととします。

具体的な事業計画については、下記のとおりです。

- ① 「菜〇野果市」の納入者に対してインターネットによるリアルタイムな売上状況を発信します。
- ② 定期的にオリジナルイベントを開催します。
- ③ くみはま SANKAIKAN オープン26周年祭、道の駅14年祭イベントを開催します。
- ④ 市内の各イベントに積極的に参加します。
- ⑤ 地域特産品の開発・商品化に取組みます。
- ⑥ 旅館等の観光業者との連携を強化していきます（ポイントカード発行など）。
- ⑦ 市内観光業者との連携を図ります。
- ⑧ 他の道の駅との連携を強化していきます（スタンプラリーなど）。
- ⑨ より一層、SNSやホームページでのPRの充実を図ります。

令和 7 年度 収支計画

科目	第 2 6 期 実績	第 2 7 期 収支計画
	令和 7 年 3 月 31 日	令和 8 年 3 月 31 日
[売上高]	153,211,848	160,000,000
[売上原価]	124,525,538	130,000,000
期首商品棚卸高	33,438	0
商品仕入高	124,527,785	130,000,000
期末商品棚卸高	35,685	0
営業総利益	28,686,310	30,000,000
人件費	役員報酬 給賞与手当 法定福利費 福利厚生費	0 6,741,334 1,272,346 227,079
	人件費計	8,240,759
販売費及び一般管理費	支払手数料 荷造運賃 接待交際費 広告宣伝費 通信費 消耗品費 租税公課 諸会費 修繕費 保険料 水道光熱費 賃借料 運営協力負担金 衛生費 減価償却費 雑費	3,295,270 1,091,031 1,855 3,881,016 443,356 971,076 22,357 111,698 629,977 125,150 5,092,019 327,276 2,400,000 736,377 425,582 559,019
	販売費及び一般管理費 計	20,113,059
	人件費・販売費・管理費 合計	28,353,818
	営業損益金額	332,492
営業外収益		510,000
受取利息	2,751,056	1,604,546
雑収入	10,016 2,741,040	0 1,604,546
	経常損益金額	3,083,548
		2,114,546